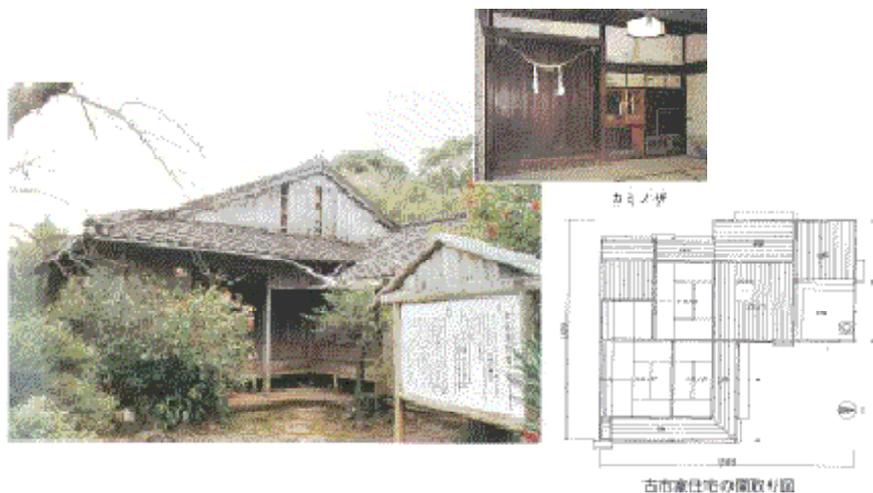


## 古市家住宅

【所在地】熊毛郡中種子町坂井字門ノ原 3182

【種別】国指定有形文化財（建造物）

【指定年月日】平成 6 年 7 月 12 日



古市家住宅は、領主種子島氏に仕え、庄屋・横目等を勤めていた古市源助が、弘化3（1846）年に建てた武家住宅で、改造が行われているが、座敷は建築当時の原型をほぼとどめている。

屋敷地は周辺より一段高い所にあり、幅の狭い石敷きの道に面している。正面には低い石垣を構え、ほぼ中央に入口がある。主屋の前には庭園、後には井戸がある。主屋の北側と西側には蜜柑畑が広がっている。

屋根は瓦葺で、正面は入母屋造、背面は切妻造で解体修理の結果5部屋からなることが分かった。南側にあるカミノザはトコ・タナを持っている。

古市家住宅は、種子島に現存する最古の住宅で、島内を代表する建築物として価値が高い。また、屋敷地の環境も良好であり、住宅とともに歴史的風致を形成しており、貴重である。